

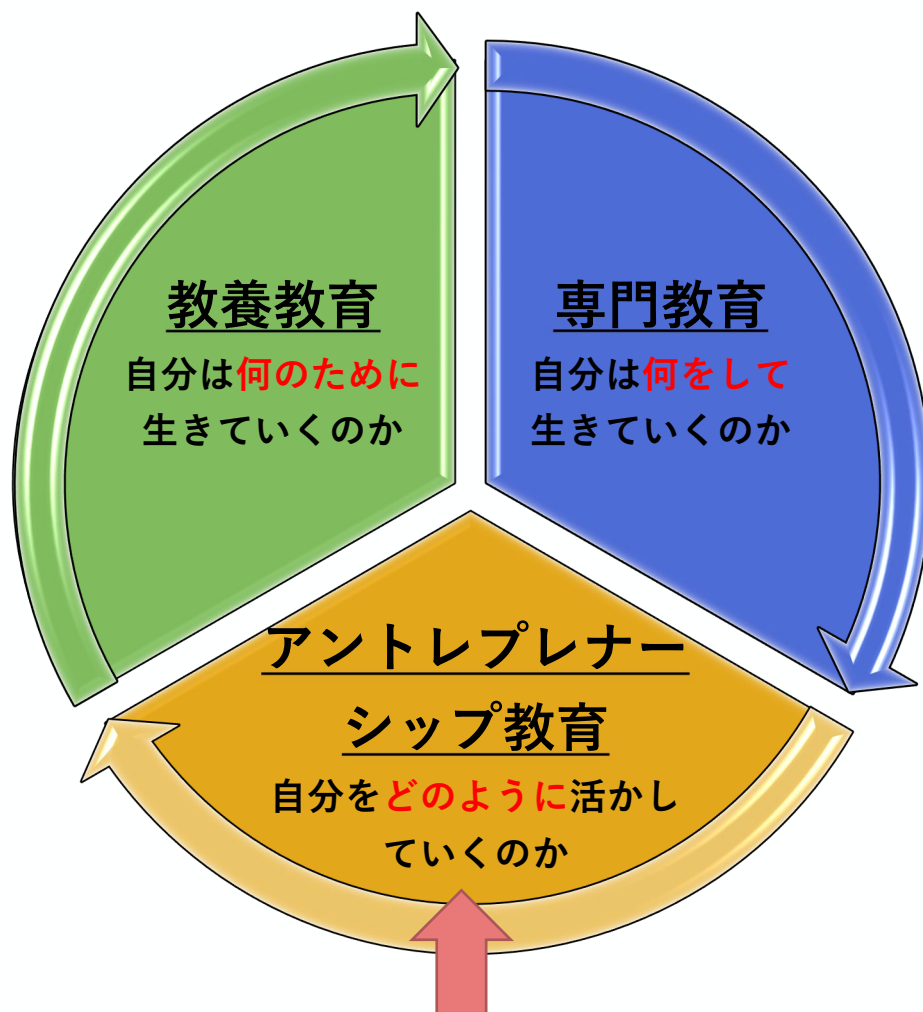
アントレプレナーシップ科目の 履修について(全課程共通)

Inspiring futures

アントレプレナーシップ教育機構



PRビデオ



起業に限らず、開業、企業、大学、政府機関、国際機関、保健・医療機関、NGO/NPOなどの多様な組織で、**新しい価値を創造すること**でSDGs等が掲げる**グローバル課題**を解決し、**総合知を活かして未来社会を創る**人材を育成する。

先見性・国際性・リーダーシップ・
価値創造・キャリア構築

アントレプレナーシップ科目

アントレプレナーシップ教育を理工学系の、**全学位課程の全学生を**
対象に実施する。

学士課程：

- ・ アントレプレナーシップ**教育コア**(強く推奨)
- ・ グローバル教育オプション(選択)

修士課程：

- ・ アントレプレナーシップ**教育コア**(必修)
- ・ グローバル教育オプション(選択)

博士課程：

- ・ アントレプレナーシップ**教育コア**(必修)
- ・ アントレプレナーシップ教育プラス(選択)



アントレプレナーシップは、コンピュータでいうOS
学生の将来の進路に関わらず必要

身につける能力、知識およびスキル1

(1) 先見性

科学技術を基盤としてより**良い社会の将来像**を明確に描くことができる力。

※主要素「先見性」はアントレプレナーシップの導入科目のほか、他の主要素の科目にも含まれている。

(2) 国際性

グローバルな課題の本質や、自身とのつながりを**理解し**、**情報収集**、**分析**、**考察等**を経た上で、**解決のための提案ができる力**、さらに、自身と異なる背景（文化、慣習、母語等）や価値観をもつ個人に対し、または集団の場において、他者に配慮し、**相互理解を深めたうえで協働**できる力。



(3) リーダーシップ

隠れた思い込みの自覚に努め、多様性を尊重しつつ、自らの評価軸をもとにした**主体的意見を表明**し、さまざまなステークホルダー間の**合意形成を図ることができる**
リーダーシップと求心力



(4) 価値創造

自らの専門における本質的課題の洞察をもとに、解決策の提案・実行・複数視点からの検証等のプロセスを繰り返すことで**新たな価値を生み出す創造力**、および、その蓋然性を向上させて**実社会に結実させる展開力**と、目的意識をもって**成し遂げる実行力**。

(5) キャリア構築

自分の将来に参考となる**ロールモデルを見出だす力**や**自分の将来のキャリアを構築する力**。

業界・企業分析、組織の財務会計、法律・標準等のルール、起業、倫理、SDGs等社会人として活躍するために必要不可欠な**基礎的知識**、さらに自己理解・自己PR、コミュニケーション、思考法、文書作成力、アジェンダ設定力、リーダーシップ等の**スキル**。

- (1)～(5)の要素に関する授業科目を100～600番台に設置。
これらの授業科目をできるだけ**異なる要素にまたがるように**履修してほしい。
- 各学院・系・コース等の専門科目の中にも、アントレプレナーシップ対応科目として履修可能な科目がある。
- 詳しくは各課程の学修案内を参照のこと。

アントレプレナーシップ科目(大学院課程・必修) 教育コアとオプションの履修について

Inspiring futures

アントレプレナーシップ教育機構

①アントレプレナーシップ教育コア(修士課程・必修)

- 学修案内の表M-1に設定されている **2つのGA (GA0M、GA1M)** を満たすように科目を選択して、**2単位以上取得することが修士課程修了の必修要件**となっている。

(※) GAの附番されていない科目は教育コアの単位に含めることができない。)

表M-1 アントレプレナーシップ科目のGraduate Attributes(GA)

GA: 修了生として身に付けるべき知識・能力

GA0M	自らのキャリアデザインを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係、倫理を含めて認識できる。
GA1M	自らのキャリアデザインを実現するために必要となる知識・スキル、倫理、アントレプレナーシップ等を修得し、他者と共同して課題解決に貢献できる。

- コース等開講の専門科目を使用する場合の注意**

専門科目の「アントレプレナーシップ対応科目及びアントレプレナーシップ科目」を教育コアで必修の2単位に含める場合には、その単位は専門科目の単位としては認定できなくなる。

修士課程の授業科目(例)1

表M-2 アントレプレナーシップ科目(機構開講)(抜粋)

主要素等	番台	科目コード	授業科目	単位数	開講Q	備考
国際性	400	ENT.G405	異文化グループワーク海外研修アドバンスト 2 (Advanced Multicultural Groupwork Study Abroad 2)	0-0-2	1~2Q/3~4Q	英日併用 GA1M
	400	ENT.G453	Technology and Product in Context (物語のあるものづくり)	0-1-0	4Q	英語 GA1M
	400	ENT.G454	Our Sustainable Energy Future: Role of Business and Technology (私たちの持続可能なエネルギーの未来：ビジネス と技術の役割)	0.5- 0.5-0	3Q	英語 GA1M
リーダー シップ	400	ENT.L456	Effective Teamwork in Global Companies (グローバル企業の効果的なチームワーク)	0-1-0	4Q	英語 GA1M
	400	ENT.L457	Global Leadership Practice (グローバルリーダーシップ実践)	0-2-0	2Q	英語 GA1M
価値創造	400	ENT.V401	Master's Introduction to Entrepreneurship 1 (修士アントレプレナーシップ入門 1)	1-0-0	3Q	英語 GA0M
	400	ENT.V402	Master's Introduction to Entrepreneurship 2 (修士アントレプレナーシップ入門 2)	1-0-0	4Q	英語 GA1M
キャリア 構築	GA: 修了生として身に付けるべき知識・能力				2Q/3Q	GA0M
	400	ENT.C406	Master's Global Career Development Literacy (修士グローバルキャリア開発リテラシー)	1-0-0	1Q/3Q	英語 GA0M

GA1M

GA0M

修士課程の授業科目(例)2

表M-3 アントレプレナーシップ科目対応科目(全学的に開講) (抜粋)

主要素等	番台	科目コード	授業科目	単位数	開講Q	開講元	備考
国際性	400	LAW.X416	Modern Japan (モダンジャパン)	1-1-0	2Q	広域教 養科目	英語 GA0M GA1M
価値創造	400	LAW.X418	Study on Japanese Companies and Industries I (日本企業・産業研究 I)	0-1-0	3Q	広域教 養科目	英語 GA0M GA1M
	400	LAW.X419	Study on Japanese Companies and Industries II (日本企業・産業研究 II)	0-1-0	1Q	広域教 養科目	英語 GA0M GA1M

GA0M
GA1M



GA: 修了生として身に付けるべき知識・能力

修士課程の授業科目(例)3

- ・ 各コース等の開講科目にもアントレプレナーシップ科目
対応科目及びアントレプレナーシップ科目あり
- ・ GAも付与されている

詳細は学修案内の各コース等の説明にて確認すること！

表○ ●●コース修士課程アントレプレナーシップ科目対応科目及び
コースで開講するアントレプレナーシップ科目（GA情報含む）

・ コース等開講の「アントレプレナーシップ対応科目」を
教育コアで必修の2単位に含める場合には、その単位は専門
科目の単位としては認定できなくなる。

②グローバル教育オプション(修士課程)1

グローバル教育オプション(GEO)では、アントレプレナーシップ教育コア(修士課程)で必修とされているGA付きの授業科目以外に、**留学や外国語コミュニケーション力の向上のための授業科目を提供している。**

- ・ アントレプレナーシップ教育コアと並行して取り組みが可能。
- ・ 修士課程修了時まで**に教育コアで必修とされているGAを満たした2単位と合算して、つぎのページの条件を満たすように合計5単位以上を取得した場合、グローバル教育オプション(修士課程)の修了証を発行する。**



② グローバル教育オプション(修士課程)2

オプションの修了要件：

- ・ 教育コアで**必修の2単位**を取得していること
- ・ オプションで指定したアントレプレナーシップ科目の表M-GEO-1「**国際性**」および「**リーダーシップ**」の授業科目から**1単位以上**
- ・ 本学が指定する**国際経験認定用の科目から1単位以上**
(1か月以上の海外留学を推奨)
- ・ 原則、表M-GEO-2のオプションで指定した**外国語コミュニケーション科目から1単位以上**
(表M-2・表M-3および表M-GEO-3の授業科目の中からでも可)
- ・ 以上を合わせて**5単位以上** (授業科目の重複は不可)
- ・ TOEFL iBTなどの英語力検定試験の資格は不要



修士課程学修モデルのまとめ(重要)

主要素	修士課程	
	コア (必修)	グローバル教育 オプション
国際性	2 (GA0M, GA1M)	3 ↑ オプションで 指定の科目から
リーダーシップ		
価値創造		
キャリア構築		
総単位数	2	2 + 3 ⇕ 修了証



- ・ コア、オプション、いずれも通常の履修申告のみ

教務WEBシステムにおけるアントレ科目の単位およびGAの確認方法

【各学生の教務WEBシステム「成績閲覧：修了要件」のページ】

修了要件 <物理学コース>

		修了要件	修得済単位	修得済単位のうち アントレプレナーシップ 対応科目単位数
教養科目群	文系教養科目 (400番台)	2	2	
	文系教養科目 (500番台)	1	1	
	アントレプレナーシップ科目 (GA付)	2	1	
	アントレプレナーシップ科目 (GAなし) (注)		0	
	教養科目群 (小計) <A>	5	4	0
専門科目群	講義科目	4	4	
	研究関連科目 (R)	2	2	
	研究関連科目 (B)	8	8	
	コース標準学修課程 専門科目 (L)		15	
	コース標準学修課程の専門科目群 (小計) 	23	29	
	コース標準学修課程外の専門科目 <C>		0	0
合計 <A+B+C>		30	33	2

修得したGA付アントレプレナーシップ科目の単位数(a)

$a + b \geq 2$ となるように

修得したアントレプレナーシップ科目対応科目の単位数(b)

(注) GAなしの科目は、「アントレプレナーシップ科目」の修了要件2単位に含めることはできません。

※「修得済単位」には学生自身が修得した単位数が計上されておりますが、コースでの読み替えを行う前の

※ 合計単位数の要件を満たしていますが、読み替えをすることで単位が不足する可能性があります。

要件を満たさない項目(テストサイトのみ表示)：キャリア/アントレ科目、教養科目

注意：

bをアントレ科目と専門科目の両方の単位としてダブルカウントはできない。

修得済GA

GA0M, GA1M

修了には、入学

【修士課程学生
2022年以降入
2021年度以前

修得したアントレプレナーシップ科目のGA

- ・「GA0M」と「GA1M」の両方が表示されることが必要。
- ・対応科目で取得したGAも表示されている。

アントレプレナーシップ教育コア(博士後期課程・必修)

学修案内の表D-1に設定されている **2つのGA(GA0D、GA1D)**を満たすように科目を選択して、**4単位以上取得**することが博士後期課程修了の**必須要件**となっている。(※) GAの附番されていない科目は教育コアの単位に含めることができない。

表D-1 アントレプレナーシップ科目のGraduate Attributes(GA)

GA: 修了生として身に付けるべき知識・能力

GA0D	自らのキャリアを明確にデザインし、アカデミア・産業界の構成員として活躍するための知識・スキル、社会的責任、倫理等を包括的に理解して、イノベーション実現に貢献できる
GA1D	自らがデザインしたキャリアを実現するために必要な高度なリーダーシップ、アントレプレナーシップ、知識・スキル、社会的責任、倫理等を身に着けることで、イノベーションの実現を主導できる

- ・コース等開講の「アントレプレナーシップ対応科目」を教育コアで、必修の2単位に含める場合には、その単位は専門科目の単位としては認定できなくなる。
- ・コア(必修)の4単位に加え、「アントレプレナーシップ科目」及び「アントレプレナーシップ対応科目」の中から2単位以上を取得した場合、アントレプレナーシップ教育プラスの履修証明書を発行する。

博士後期課程の授業科目(例)1

表D-2 アントレプレナーシップ科目(機構開講) (抜粋)

主要素等	番台	科目コード	授業科目	単位数	開講Q	備考
価値創造	600	ENT.V601	Doctoral Introduction to Entrepreneurship 1 (博士アントレプレナーシップ入門 1)	1-0-0	3Q	英語 GA0D  GA0D
	600	ENT.V602	Doctoral Introduction to Entrepreneurship 2 (博士アントレプレナーシップ入門 2)	1-0-0	4Q	英語 GA1D  GA1D
キャリア構築	600	ENT.A621	博士アカデミックリテラシー (Doctoral Academic Literacy)	1-0-0	1Q/2Q/ 3Q/4Q	GA1D/原則として 博士後期課程入学後半年以内は 履修不可
	600		Practice)	0.5-0		GA1D/博士後期 課程入学後半年 以内は履修不可

GA: 修了生として身に付けるべき知識・能力

博士後期課程の授業科目(例)2

表D-3 アントレプレナーシップ科目関連科目(全学的に開講)(抜粋) **GAなし**

主要素等	番台	科目コード	授業科目	単位数	開講Q	開講元	備考
国際性	600	ENT.G601	Advanced International Experience 1AB for doctoral course (国際経験実践アドバンスト 1AB 博士)	0-0-1	1～2Q		英語 GA なし
	600	ENT.G602	Advanced International Experience 1CD for doctoral course (国際経験実践アドバンスト 1CD 博士)	0-0-1	3～4Q		英語 GA なし
	600	ENT.G603	Advanced International Experience 2AB for doctoral course (国際経験実践アドバンスト 2AB 博士)	0-0-2	1～2Q		英語 GA なし
	600	ENT.G604	Advanced International Experience 2CD for doctoral course (国際経験実践アドバンスト 2CD 博士)	0-0-2	3～4Q		英語 GA なし
	600	ENT.G605	Advanced International Experience 3AB for doctoral course	0-0-3	1～2Q		英語
必修の4単位より多く履修したい学生や アントレプレナーシップ教育プラスを履修したい学生に							
			(国際経験実践アドバンスト 3CD 博士)				GA なし

GAなし



博士後期課程の授業科目(例)3

- ・ 各コース等の開講科目にもアントレプレナーシップ科目
対応科目及びアントレプレナーシップ科目あり
- ・ GAも付与されている

詳細は学修案内の各コース等の説明にて確認すること！

表○ ●●コース博士課程アントレプレナーシップ科目対応科目及び
コースで開講するアントレプレナーシップ科目（GA情報含む）

・ コース等開講の「アントレプレナーシップ対応科目」を教育コアで必修の2単位に含める場合には、その単位は専門科目の単位としては認定できなくなる。

博士課程学修モデルのまとめ(重要)

主要素	博士後期課程	
	コア (必修)	プラス
国際性	4 (GA0D and GA1D)	2
リーダーシップ		
価値創造		
キャリア構築		
総単位数	4	4 + 2

← コア(必修)の4単位に加え、2単位以上を取得した場合

↓
履修証明書



- ・ コア、プラス、いずれの学修モデルも通常の履修申告のみ

教務WEBシステムにおけるアントレ科目の単位およびGAの確認方法

【各学生の教務WEBシステム「成績閲覧：修了要件」のページ】

修了要件 <物理学コース>

		修了要件	修得済単位	修得済単位のうち アントレプレナーシップ 対応科目単位数
教養科目群	文系教養科目 (600番台)	2	2	
	アントレプレナーシップ科目 (GA付)	4	4	
	アントレプレナーシップ科目 (GAなし) (注)		0	
	教養科目群 (小計) <A>	6	6	0
専門科目群	講究科目	12	8	
	コース標準学修課程 専門科目 (L)		5	4
	コース標準学修課程の専門科目群 (小計) 	12	13	4
	コース標準学修課程外の専門科目 <C>		1	1
合計 <A+B+C>		24	20	5

修得したGA付アントレプレナー
シップ科目の単位数(a)



$a + b \geq 4$ となるように



修得したアントレプレナーシップ
科目対応科目の単位数(b)

(注) GAなしの科目は、「アントレプレナーシップ科目」の修了要件4単位に含めることはできません。

※「修得済単位」には学生自身が修得した単位数が計上されておりますが、コースでの読み替えを行う前の区分で掲載されています。

要件に満たない項目(テストサイトのみ表示)：講究科目, 合計

修得済GA

GA0D, GA1D

修了には、入学年度の学修

修得したアントレプレナーシップ科目のGA

- ・「GA0D」と「GA1D」の両方が表示されることが必要。
- ・対応科目で取得したGAも表示されている。

注意：

bをアントレ科目と専門科目の両方の
単位としてダブルカウントはできない。